

おわりに

ここまで、コンセプト「ユメを紡ぐまち、れいほく」を実現するための取り組みについて述べてきたが、それらを踏まえて「嶺北（本山町・土佐町）版 生涯活躍のまち」の実現に向けた取り組みの方向性をまとめ、おわりとする。

1. 嶺北（本山町・土佐町）の魅力と強みが活かされた取り組みであること

四季折々に表情を変える田園風景、自然と調和した暮らし、世界に誇れる農産物や食文化などの地域資源を活かすこと。

福祉分野では、これまで推進してきた健康寿命を伸ばすための研究と実践、切れ目のない地域の見守りと医療・介護サービスをさらに充実させていく。

移住促進については、現在の「移住実践者と地域住民との交流の好循環」をさらに活性化し、移住実践者が暮らしを築きやすい地域づくりを目指す。

2. あらゆる世代が交流できる取り組みであること

暮らしや趣味、学習の機会を通じて、移住実践者も含めた地域住民が世代を超えて交流できる場を創出していく。伝え合い、学び合うことで互いを高め、豊かな暮らしと自己実現を追求することができる文化をつくる。

3. 多様な活動・役割を提案する取り組みであること

移住実践者も含めた地域住民が持つスキルやキャリア、意欲を活かし、仕事や趣味、ボランティアなど様々な活躍の場を提案する。

以上の方向性を踏まえながら「嶺北（本山町・土佐町）版 生涯活躍のまち」づくりを進めることで、それぞれが自己実現を図りながら地域の発展と調和のとれた社会を築くものである。